

日本ナショナリズム研究所講演会

演題「シナ人がちっとも守らない孔子の教え」

平成 23 年 12 月 15 日 酒井信彦

レジュメ

1、ことわざ・格言の重要性

小難しい思想・哲学より、ことわざ・格言のほうが真実を穿つ

日本の親族制度の特徴を表す格言 血縁より地縁

「氏より育ち」 「兄弟は他人の始まり」 「遠い親戚より近くの他人」

2、論語の内容と価値

論語は格言の宝庫 東アジアで最も有名な書物

昔から使われる有名な例 発想が自然で穏当 具体的でわかり易い

3、日本における論語への関心

江戸時代 儒学の流行 漢文による教育 最も基本的な教科書

ことわざ格言・自体が日常的に良く使われた 戦後かなりの時期まで

最近も論語ブーム 子ども向け論語教室 論語の本が売れている

4、中共による孔子の利用

対内的 胡錦濤が提唱「和諧社会」 天安門広場に孔子像

歴史と文化による攻勢 孔子学院 孔子平和賞 映画「孔子の教え」

5、儒教の中核概念、孔子の教えの核心

仁あるいは恕 共に「思いやり」

具体的には「己の欲せざる所は、人に施す勿れ」

6、孔子の教えを裏切るシナの歴史と現実

徳治主義はあくまでも建前 本音は法治主義よりもさらに人治（無法）主義

宋時代の官僚の党争 李氏朝鮮でも

中共は現実の侵略国家、シナ人は侵略現行犯民族

シナ思想の神髄 仁・恕とは全く逆の「水に落ちた犬は打て」

7、中共の現実 ますます覇権主義を驀進

日本は格好の侵略対象 精神侵略における前近代史・文化の利用

文化の同一性を強調 中華民族への編入へ

8、シナ人との言論・思想闘争

「論語読みの論語知らず」 日本人が生んだ最高の格言

相手の武器「論語」で戦う 論語の格言をシナ人に突きつける